

明倫 AIR 通信

平成 26 年 9 月号

明倫 AIR 通信は明倫地区の皆さんに滞在アーティストの取り組みをお知らせする広報誌です。

特集 アーティストの季節がやってくる！

明倫 AIR2014 を開催します

今年も明倫地区にアーティストがやってくる季節になりました。

明倫 AIR2014 は、BARON (バロン)、竹ち代穂也 (たけちよまりや) の二人のアーティストがやってきます。

そして、二人をプロデュースするのは、昨年の明倫 AIR で御伽草子「打吹羽衣」の公演を成功させたバーレスク・パフォーマーのチェリータイフーン！

アーティストと楽しい時間を過ごしましょう。

みなさんへのお願い

アーティストが明倫地区を散策しているのを見かけたら、「こんにちは」と、声をかけてください。

そして、時間が許す限り、最近あったこと、昔の思い出など、なんでもいいのでお話をさせてください。

アーティストにとって、明倫地区は未知の世界です。

まちを歩くだけではわからない、いろいろなお話を聞けるのを楽しみにしています。

チェリータイフーンのメッセージ (明倫 AIR2014 ディレクター)

倉吉の皆様、お久しぶりです！

2013 年明倫 AIR でお世話になりました、バーレスク・パフォーマーのチェリータイフーンです。

昨年の AIR 以来、私はすっかり明倫地区の魅力にハマってしまい、第二の故郷のように感じています。

今年度、プロデューサー、そしてパフォーマーという形で再び皆様と一緒にアートを作り上げて行けることが、本当に嬉しく、感謝感激です。

AIR は、町と人とアーティストの化学変化で作りに上げて行くものだと思います。

その意味では、今年は 8 月のリサーチから新たな化学変化が起き、何かが始まるのかな…と思うのですが、4 月に明倫地区に伺っ

た時着想し、「今年こんなことがやりたいな」と思っている事が2つあります。

1) より深く地区とコラボする

昨年の「御伽草子」公演では、地域伝承を教えて頂き、歴史的遺産の中で踊らせて頂く体験をしました。

今年も明倫地区の皆さんとともに新たな舞踊作品を作り上げ、共に歴史と文化に想いを馳せるためのコラボレーションができれば幸いです。

2) 新しい人の流れを作る

私が感じた倉吉の魅力を、鳥取県外の人、更に言えば日本国外の人にも知って欲しい…今回の滞在期間中、県外、海外のアーティストを明倫地区に数日間招き、ミニ・コラボをすることで新たな人とアートの流れを作る「Air in AIR」という短期滞在型プロジェクトを考えています。

旧仲倉医院または MG ハウスを拠点に、ささやかで、それでいてダイナミックなふれあいを作り出せたら、と思っています。

定点観測型の舞踊公演(昨年と同じロケーション)と、流動型の Air in AIR。

点と線が、人と人が交差する面白さを、アーティストとして、プロデューサーとして創って行けたらと思います。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



チェリータイフーン
(バーレスクパフォーマー/脚本家・演出家)

1996 年早稲田大学にて劇団「サッカリンサーカス」を旗揚げ、以降 2004 年の解散まで、虚実をないまぜにした心理的演劇を楽劇風に行う独特のスタイルで全作品を創る。

2001 年沖縄市戯曲賞大賞受賞(作品名:「上等番長」)。

2003 年日本演出者協会若手育成コンクール優秀賞受賞。

2004 年の劇団解散後、ダンスパフォーマンスグループ「紫ベビードール」のダンサーに転向。翌年、楽天団「レイディアンス」出演を契機に女優活動も開始する。

現在「チェリータイフーン」の芸名で世界各国を旅しつつバーレスクパフォーマンスを行う一方、地元浅草にて市街地や戦争を生き残った歴史的建造物でレビューショーを行う「トワイライト・ロストキャバレー」(2009 年台東区芸術文化支援制度助成作品/Bumb 東京「チャレンジ・アシストプログラム」助成作品)シリーズ等の脚本・演出も手掛けている。

BARON (バロン) のメッセージ (明倫 AIR2014 アーティスト)

明倫の皆様初めまして BARON(バロン)と申します。

ボードビリアンです。ボードビルとは、テレビや映画が生まれる前に芸人さんが舞台上で音楽やダンス、手品や漫才、演劇にプロレスまで、ありとあらゆる方法で目の前の観客を楽しませていた生のエンターテイメント(演芸)です。

そういう芸人さんの事をボードビリアンと言います。

僕はそんな時代の芸人さんのボードビルスピリットが好きで、劇場や生の音楽がある場所が好きでこの仕事をやっています。

○AIR でやってみたいこと

Artist in residence でやってみたいことは、「明倫ボードビル」です。

これから行く明倫で何を感じるか、とても楽しみなのですが、ウクレレ片手に街を歩いて、人に会って、話して、歌って、明倫の日常の中にある風景からボードビルを作ってみたいと思います。

内容はお楽しみです。

とにかく現地に行って、場所を見て、何が出来るか探りたいと思います。

楽しい空間を作りたいです。

○意気込み、メッセージなど

僕の仕事は、まずはお客さんを楽しませる事なんですけど、ただ消費するだけの楽しい空間作りはしたくないなと思っています。

お金だけ使って後に何も残らない楽しみ方は、一時的に経済が潤うかもしれませんが、続かないと思うからです。

滞在中にボードビルのワークショップなどできたらいいです。

日本中、街に1人ボードビリアンがいたらいいなと思っています。

もちろんボードビルだけじゃなくて、様々なアートが町にあってほしいです。

町は人が作るものだと思うので、できるだけ色々な種類の面白い人が集まっていたほうが多様性のある町になっていくと思います。



BARON (バロン)

1978年生まれ。岐阜県飛騨高山出身。芸術と宴会を愛する家族に育てられる。

小、中学生の頃に様々な日本の芸能、日本舞踊、民謡、和太鼓などに親しむ。高校ではバンドに熱中。

学生時代にオーストラリア・メルボルンで出会ったストリートミュージシャン、大道芸人、劇場のスタンダップコメディアンに魅せられ、芸人を志す。

現在、BARONとして、歌、ウクレレ、タップダンス、一人芝居、ジャグリング、湯たんぼ手作り楽器まで、何でも飛び出すおもちゃ箱のようなボードビルショーを展開中。

ライブや舞台の他にもCM音楽の制作や、ベネッセこどもちゃれんじ「アランとバロン」等のメディアにも出演している。

ウクレレの教室や手作り楽器のワークショップ等も行い音楽やパフォーマンスを観るだけではなく、参加する楽しみも伝えている。

音楽から生まれるコメディ、コメディから生まれる音楽。老若男女が楽しめるショーを作りつづけている。

竹ち代毬也 (たけちよまりや) のメッセージ (明倫 AIR2014 アーティスト)

○AIR でやってみたいこと

作品を見て頂くだけでなく、そのプロセスの中で地元の方と共感、共有出来る時間を作りたい。

○意気込み、メッセージなど

一人でもいいんでこれを見たり参加した次の世代にとって刺激的な日となるように、この機会をがんばって楽しみます。



竹ち代毬也 (たけちよまりや)

1992年、現代美術から舞踏に興味を持ち転身。

その後舞踏のスタイルに拘らず、体を動かす動機や体そのものにフォーカスをあてた身体表現で関西を中心に活動。

またダンス、音楽、演劇、美術など様々なアーティストとのセッションや外部出演なども多く行う。

金粉パフォーマンス「新世界ゴールデンファイナンス」では全ての作品の演出、振付を行い劇場だけでなくクラブやライブハウス、船上から披露宴会場など場所を選ばず活動。

2002年から2011年までNPO法人ダンスボックスで街と人とアートをつなぐ「コンテンポラリーダンスin新世界」や、劇場で飲食をしながらダンス、演劇、音楽など様々な表現を楽しむ「アートキャバレー」、電車を借り切ってパフォーマンスを行う「ダンストレイン」などユニークな企画のディレクターを行う。

発行 明倫 AIR2014 実行委員会 (NPO 法人明倫 NEXT100 内)
鳥取県倉吉市越中町 1583-1 TEL:0858-24-5137 FAX:0858-24-5138
最新情報はこちらにアクセス↓
ホームページ <http://meirin.info/next100/p/air2014/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/meirinair>